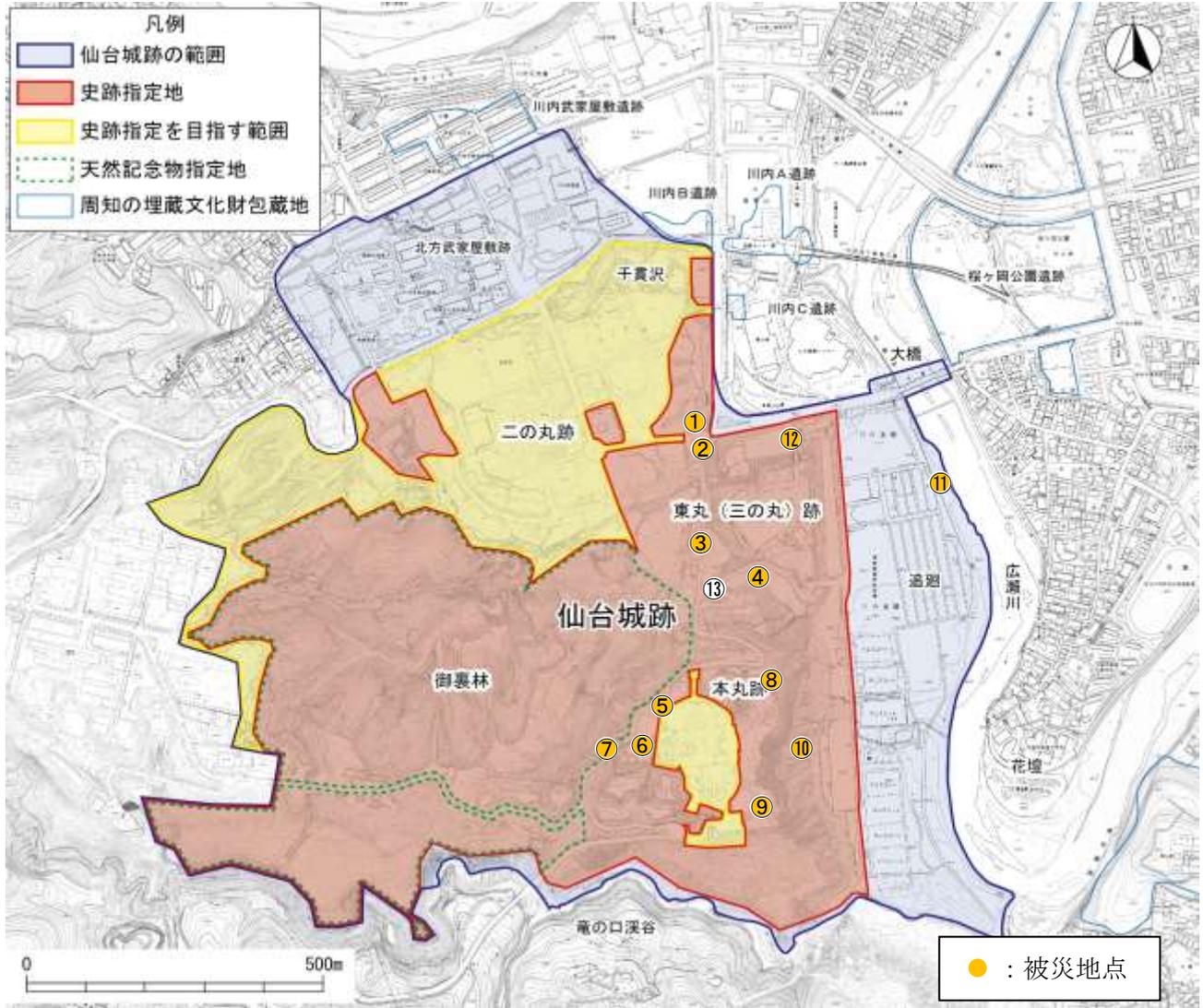


R4. 3. 16 福島県沖地震における史跡仙台城跡のき損について

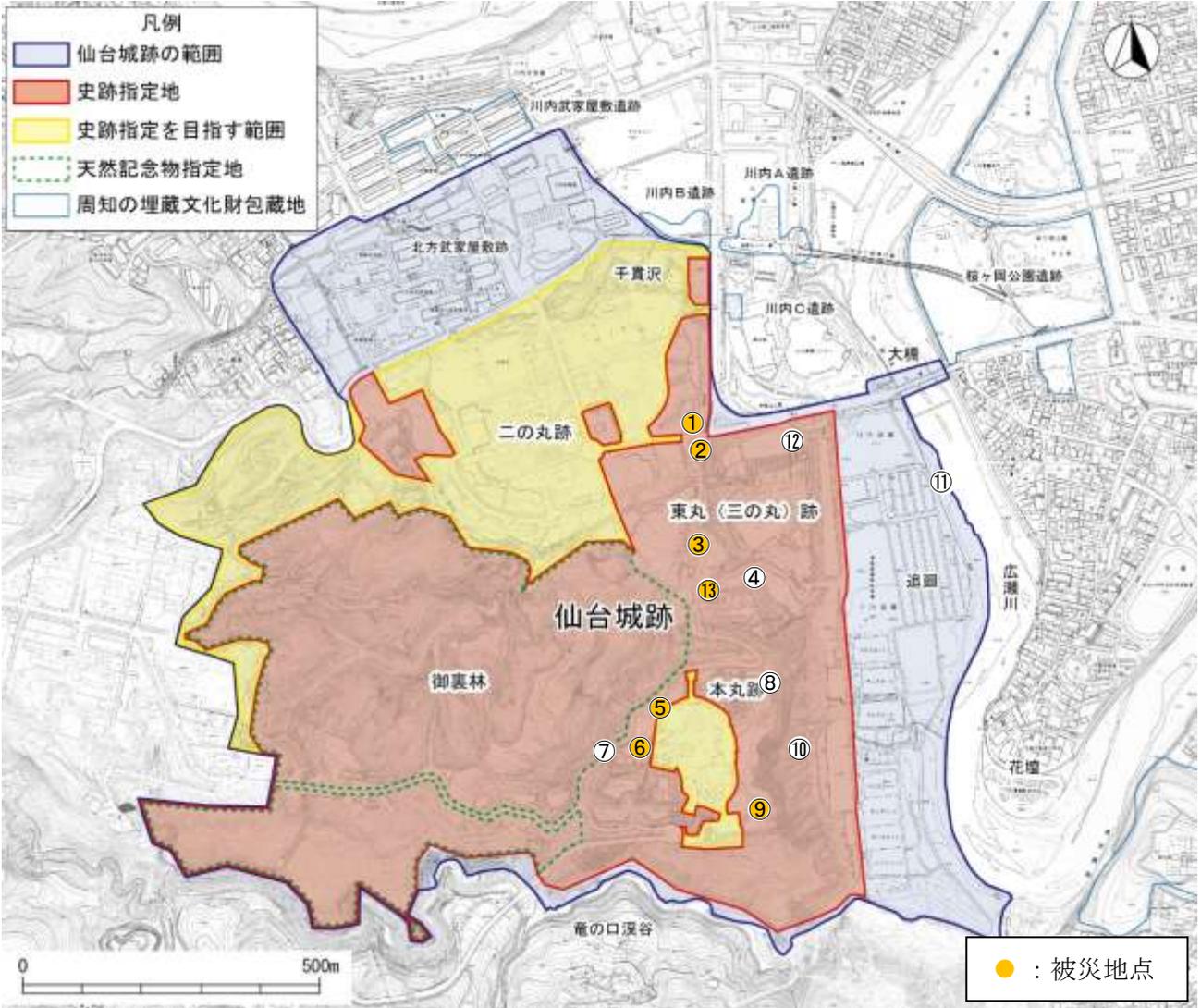
令和 4 年 3 月 16 日（水）23 時 36 分に発生した福島県沖地震（以下「R4 地震」という）で下記のとおりき損が発生した。



①	大手門北側土塀	礎石のズレ、躯体の変形、漆喰の亀裂・剥離	⑧	本丸北壁石垣	端部石材および盛土の崩落
②	大手門脇櫓石垣	石垣石材のズレ・ヒビ	⑨	本丸東側崖上面	地割れ
③	中門石垣	石垣石材のズレ(確認可能な範囲)	⑩	本丸東側崖面下部	法面の崩落、樹木の落下
④	清水門石垣	変形	⑪	広瀬川護岸石垣	崩落
⑤	本丸北西石垣	崩落、変形	⑫	五色沼護岸	石積みの変形、天端面の道路の沈下
⑥	西門石垣	崩落、変形	⑬	沢門下石垣	—
⑦	貯水槽石垣	崩落			

R3. 2. 13 福島県沖地震における史跡仙台城跡のき損について

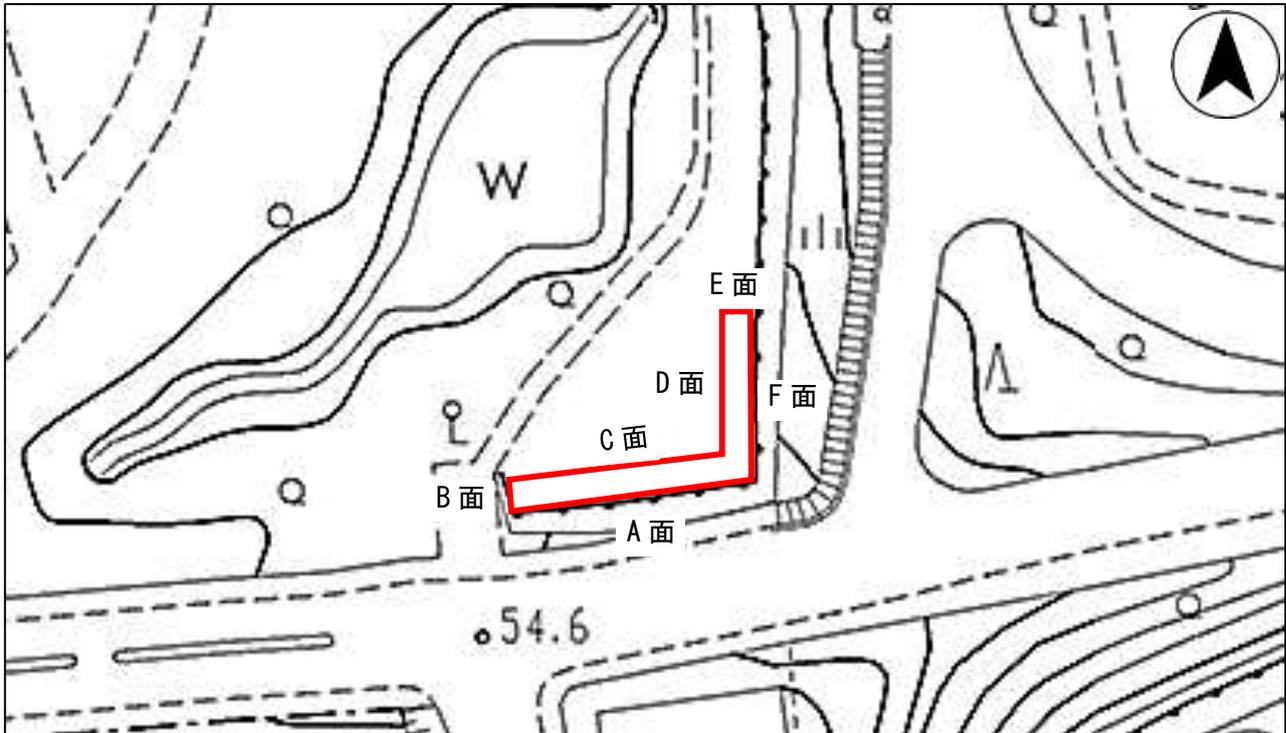
令和3年2月13日（土）23時9分に発生した福島県沖地震（以下「R3地震」という）とその余震によるものと考えられるき損について以下に記した。



①	大手門北側土塀	位置のズレ、漆喰の亀裂・剥離	⑧	本丸北壁石垣	—
②	大手門脇櫓石垣	付近の南東側斜面で地滑り	⑨	本丸東側崖上面	巽櫓跡付近で地滑り
③	中門石垣	石垣石材のズレ	⑩	本丸東側崖面下部	—
④	清水門石垣	—	⑪	広瀬川護岸石垣	—
⑤	本丸北西石垣	石垣上面に亀裂	⑫	五色沼護岸	—
⑥	西門石垣	石材3石の落下と間詰石の落下	⑬	沢門下石垣	変形、天端石1石の落下
⑦	貯水槽石垣	—			

①大手門北側土塀

令和3年2月に発生した福島県沖地震（以下「R3地震」という）により被災し、修復工事が完了しないまま被災した。漆喰の亀裂や剥離はR3地震から確認されていたが、R4地震により損傷が進行した。また、R4地震によって土塀の礎石がズレ、それにより躯体の変形が確認された。



A面被災状況（南西から）



B・C面被災状況（西から）



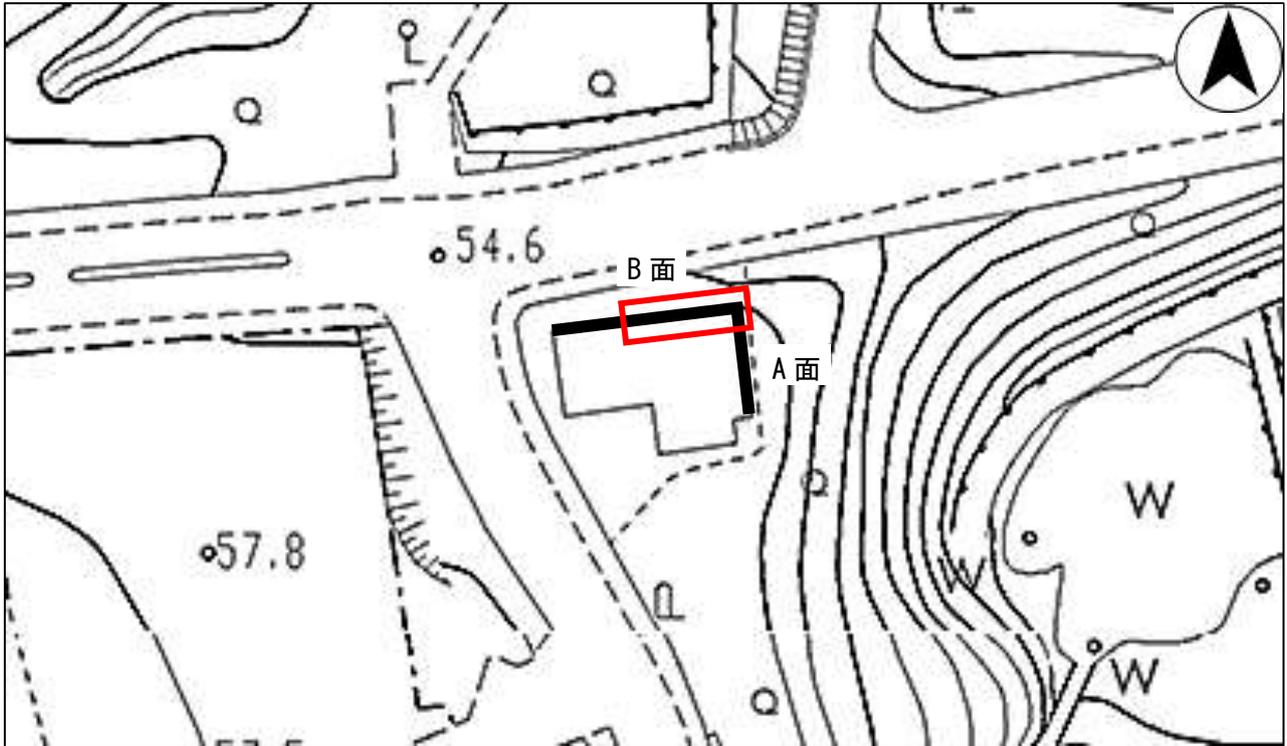
B面石垣被災状況（北西から）



E面礎石ズレ・躯体変形状況（北から）

②大手門脇櫓石垣

R3 地震において石材の剥離は確認しており、R4 地震で新たに石材のヒビやズレを確認した。また、大手門脇櫓(再建)の瓦や壁の剥離なども見られた。



石垣被災状況(北東から)



B面ヒビ状況(北西から)



脇櫓(再建)被災状況(南西から)

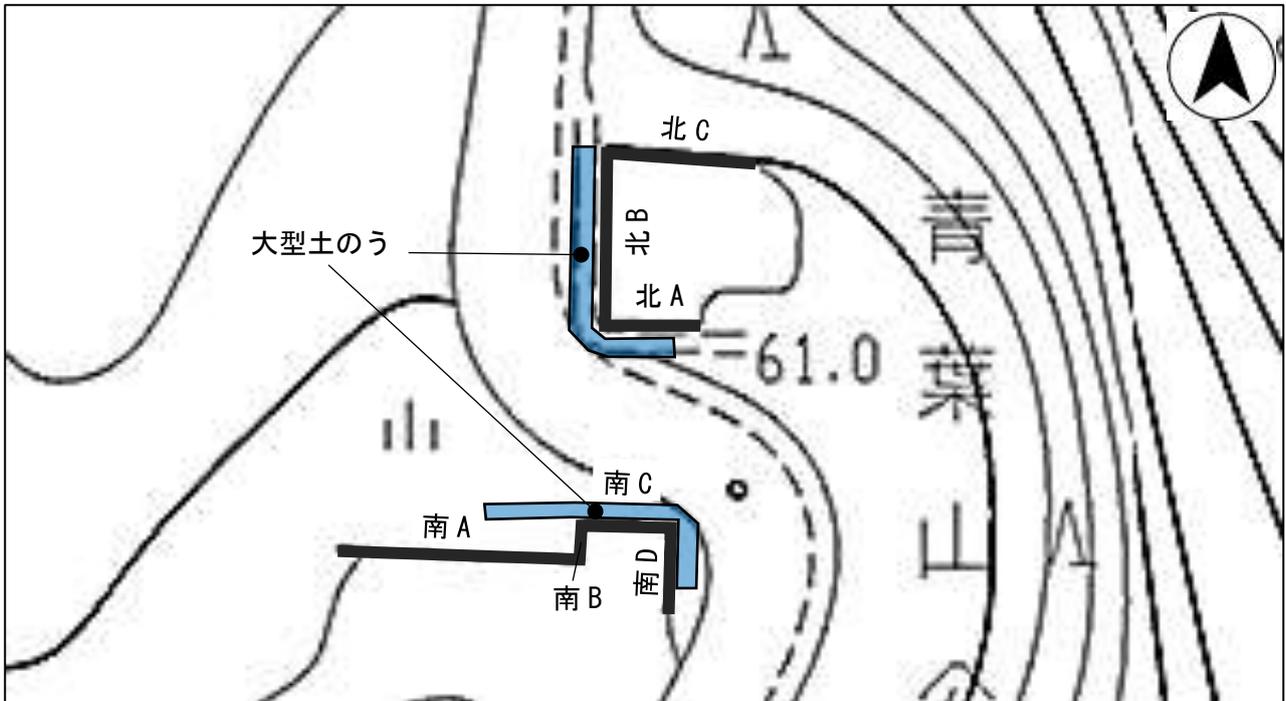


脇櫓(再建)瓦落下状況(西から)

③中門石垣

R3 地震によって変形し一部緊急解体を行っている。また、市道に隣接している事から応急措置としてシートおよびネット養生したうえで、大型土のうを前面に設置している。

R4 地震によって新たな変状がシート越しに認められた。養生および大型土のうは崩落の危険性を考慮して撤去していないため、被災状況の全容を把握できていない。



北側石垣現況（南から）



北 C 面変形状況（北から）



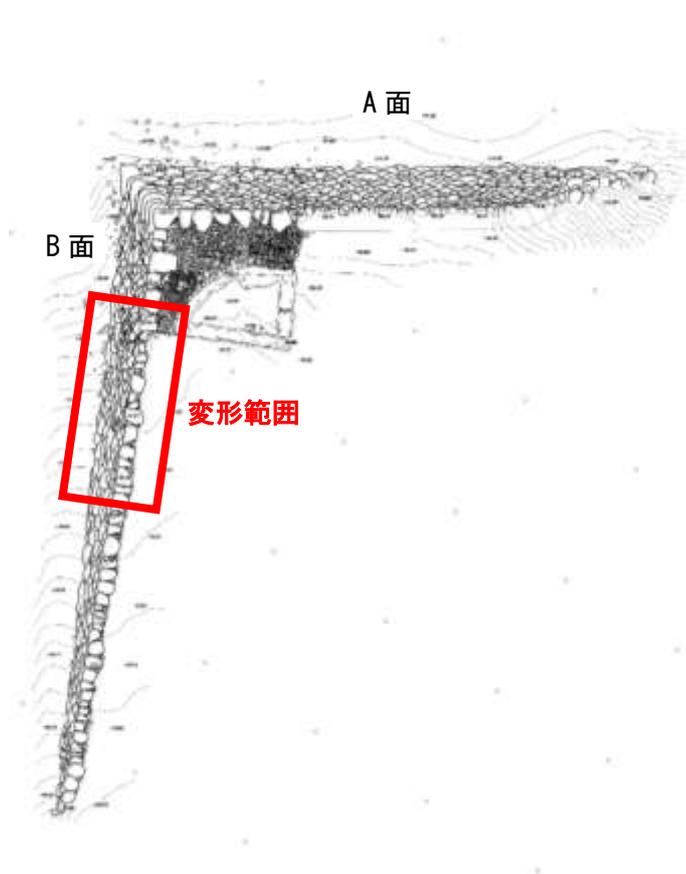
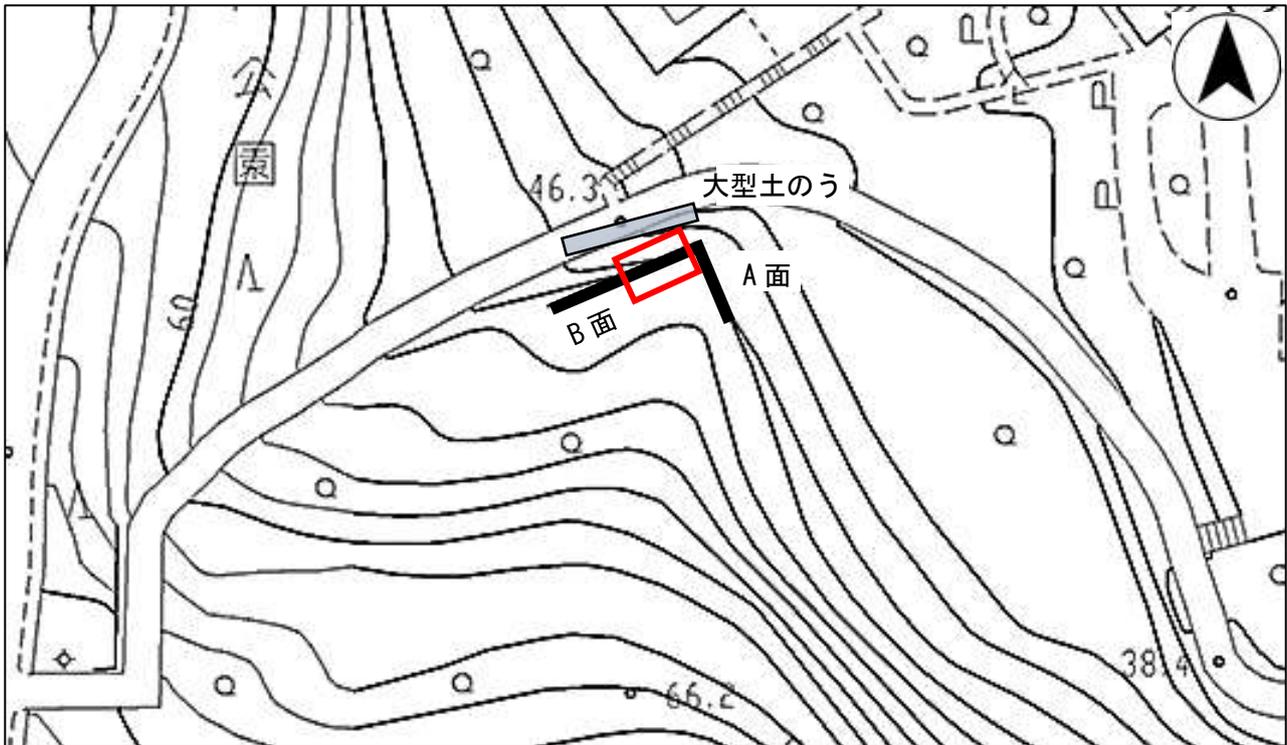
南側石垣現況（北から）



南 C・D 面変形状況（東から）

④清水門石垣

R3 地震では被害が確認されなかったが、R4 地震によって石垣の変形が確認された。市道に面していることから、危険防止の措置として大型土のうを設置し、4/28 より歩行者の通行を再開している。



東日本大震災復旧後平面図



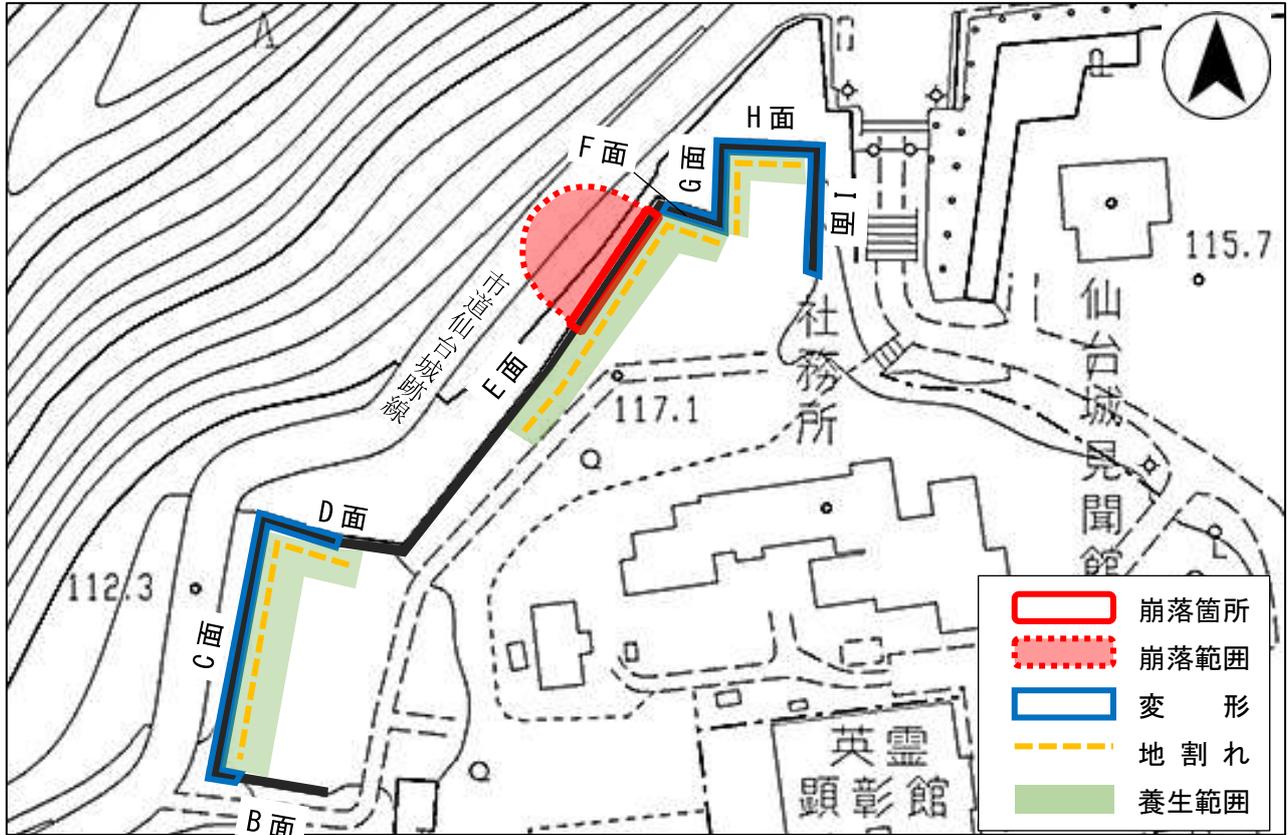
清水門石垣 B 面変形状況（西から）



大型土のう設置状況（南東から）

⑤本丸北西石垣

R3 地震により石垣上面の平場において地割れが確認されており、シート養生により応急措置を行っていた。R4 地震においては石垣の崩落および変形とそれに伴う天端の地割れが確認された。石垣に面する市道は全面通行止めとしている。



E 面崩落状況 (南西から)



G・H 面変形状況 (西から)



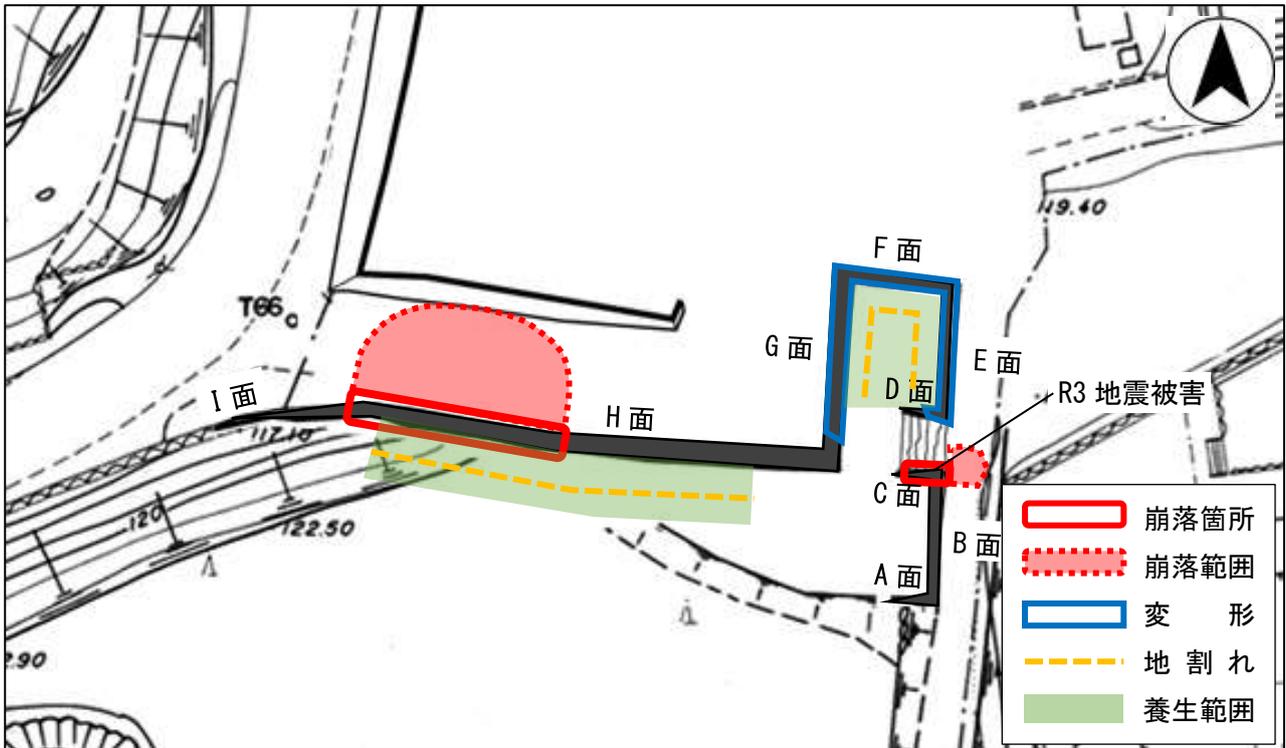
C 面変形状況 (北西から)



C 面上面地割れ状況 (北から)

⑥西門石垣

R3 地震により石垣の一部崩落と変形、天端の地割れが確認されていた。R4 地震によって新たに崩落・変形が発生し、地割れの規模が拡大した。



H面崩落状況(北西から)



G面変形状況(北から)



D・E面変形状況(南から)



E面上端変形と地割れ状況(南西から)